

伸栄建設（株）の環境行動計画

平成20年 7月 12日

■ 取組方針

環境基本理念

伸栄建設（株）は、「美しい海」「美しい山」を背景とし、奥能登への入口という豊かな自然環境の下、歴史と自然の調和する環境の維持及び改善に努めることは地元企業としての社会的責任であり、環境負荷の削減に努める事は資源を消費する企業としての責務であると認識しております。

わたしたちは、この自然豊かな古里を次世代に引き継ぐ為自らの役割を自覚し、次のように取組みます。

環境行動指針

わたしたちは、当社の営業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるため、以下の行動に取組みます。

- ① 省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を削減する。
- ② 建設現場、事務所における廃棄物の削減
- ③ 資源の有効利用を図る。

この方針に基づき社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組む為に取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 7月 12日

伸栄建設株式会社
代表取締役 塩谷吉勝

■ 環境負荷低減の目標

当社では事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ目標を達成するための具体的な取組を設定して取組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は次のとおりです。

目標-1	自動車及び建設機械等の使用に伴う二酸化炭素排出量を平成19年度を基準として、平成20年度に3%・平成21年度に5%削減する。
	(事務所での取組)
	冷房温度(28℃)暖房温度(20℃)を適正に設定する
	使用しない場所の消灯を徹底する
	業務終了時には、パソコン・コピー機の電源をオフにする
	(現場での取組)
	アイドリングの防止
	車両点検を定期的に行う
	エコドライブ運転に心がける

目標-2	廃棄物の分別を徹底し、20年度は排出量を計量し、記録することにより、データを収集し、21年度は排出量の対前年比減量に努める
	(事務所での取組)
	廃棄物は可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック・カン・ガラス瓶・ペットボトルに分別し、排出量を記録する
	詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
	ファイル・フォルダーなどは繰り返し使用する
	(現場での取組)
	再使用可能な資材(型枠材等)のリユースを促進する
	建設系廃棄物マニフェストの管理を徹底する

目標-3	OA 用紙の使用量を19年度を基準として、20年度は1%、21年度には3パーセントの削減に努める
	(事務所での取組)
	作成書類はパソコン画面上での確認を徹底する
	コピー機のボタンを押す前に設定を確認する
	両面コピーと裏紙利用を徹底する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全社員が「具体的な取組」を実行します。